

～男女共同参画社会を目指して、ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の実現に向けて～

キラッと★スマイル 八戸ナビ 19

固市民連携推進課 43-9217

(株)田名部組 建築部 建築課 主任 上 さおり さん

○仕事内容について

現場監督として、職人の皆さんが安全に作業できる環境の整備に努めています。建設業という力仕事をイメージするかもしれませんが、作業工程や予算、品質の管理も業務の一つ。「その土地に対してオンリーワンのものづくりができること」が建設業の魅力です。

○女性建設技術者ネットワーク会議(※)について

設立当初の平成27年から参加しており、今年度会長に就任しました。職場の理解があり、当社の女性技術者も全員参加しています。主な活動は、経営者・技術者向けのキャリアセミナーや現場見学会など。セミナー後の懇親会も、女性技術者同士の交流を深め、情報交換や悩みの共有ができる貴重な機会です。各社女性技術者が少ないからこそ、横のつながりが大切だと感じます。

○働きやすい職場環境

「あおもり働き方改革推進企業」の認証を受ける当社は、働き続けやすい職場環境づくりに取り組んでいます。また、



上 さおりさん

※建設業に従事する女性の働く環境の改善を目的に、県内の女性建設技術者で構成する組織

地域貢献活動にも積極的です。私も地元の消防団やえんぶり組の活動に参加しています。

○両立のために大切なこと

仕事と他の活動とのメリハリをつけるようにしています。現場の仕事はまだ慣れていませんが、周囲のサポートのおかげで、休めるときに休むという心掛けができています。また、夫は単身赴任中。ついて行くことも考えましたが、頑張つて取得したばかりの資格を活かして仕事を続けたいと伝えたところ、理解を示してくれ、感謝しています。

○メッセージ

「女性だから」という枠にとられず、やりたいと思う事に就けるようになればと思いますし、女性を受け入れる会社が増えたいという思いもあります。興味のある方、ぜひ働いてみませんか。

新 美術館だより ⑧

固市美術館 45-8338

美術館×学校 チームの挑戦

(学芸員 篠原 英里)

美術館では、子どもたちの学びに貢献したいと、学校との連携を深めています。今回は、学校の先生・美術館学芸員・専門家で結成した「学校連携プロジェクトチーム」について紹介します。

●チームだからできること

学校連携プロジェクトチームでは、美術館と学校が協力し、実験的な取り組みを行っています。これまで、子どもたちが大きな絵を制作して美術館に飾る、小学生・中学生・高校生が同じテーマと材料で制作した作品をみんなで鑑賞する、といったプロジェクトを実施しました。これらはチームでアイデアを出すことから始め、試行錯誤を重ねながら実現させたものです。より密な関係、チームだからこそできるやり方だと言えます。

●違うから、新しいものが生まれる

先生と学芸員は、仕事内容も立場も異なります。しかし、校種や所属、立場の違うメンバーが協働するからこそ、新しいものが生まれるのだと思います。たとえば、館内で大勢が制作すること、絵をワイヤーに吊るすこと、椅子を展示台として使うこと……これらは美術館にとって新しい試みでした。学校との連携で、美術館の可能性が広がっていると感じます。子どもたちに「アートの学び」を届けるため、これからもチームでどんどん挑戦していきます。



チーム会議の様子



美術館で制作した大きな絵

ホームページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp>
 携帯電話向けページ <https://www.city.hachinohe.aomori.jp/section/m/>
 Twitter <https://twitter.com/HachinoheCity>
 Facebook <http://www.facebook.com/HachinoheCity>



ホームページ



携帯用HP



LINE



「広報」「市議会だより」が閲覧可!